



つき う ちゅうこう 月はぼくらの宇宙港

さ いきかず と
佐伯和人作

しん に ほんしゅつばんしゃ
新日本 出版社

地球に一番近い天体、月。地球を飛び出して、月を探査する意味はなんでしょう？ 月の基本情報から未来計画まで、月の科学者でなければ語れないようなことが、この本にはつめこまれています。ミニ実験コーナーもあって、宇宙を身近なものに例えて理解ができます。

月が宇宙港になる未来を目標に、宇宙の仕事をしている作者。科学や技術の世界の未来は、人間が想像した方向に進むと考えています。月が持つ可能性を描き、遠い未来への想像をかきたてます。

